



学校だより

令和4年4月28日

No. 2 5月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

ともに学び合う仲間

校長 金子 博美

すがすがしい若葉の季節を迎え、木々の緑が目には鮮やかな季節となりました。

朝、登校の様子を見ていると、どの学年の子どもたちも、同じ班の1年生のことを気にしているなど感じます。先頭の班長さんが自分の後ろを歩く1年生がついてきているかを確認めたり、黄色いカバーのかかったランドセルにそっと手をかけて横に並ぶように歩いたりする姿が見られます。その姿から、微笑ましさとともに、同じ学校に通う仲間としての一体感やまとまりのようなものを感じます。

4月21日(木)には、「1年生を迎える会」を実施しました。温かく1年生を迎えたいという2年生から6年生までの子どもたち、そして、「1年生になって、うれしい」「よろしくお願いします」という気持ちでいっぱいの子供たち、テレビ放送ではありましたが、お互いに思いを伝え合う会となりました。

この会のために、各学年の子どもたちには、先生紹介やクイズ、プレゼントづくりなど、それぞれの役割がありました。本番に向けて、みんな着々と準備をしました。当日、スタジオに集まった代表の子どもたちは、1年生を楽しませたい、そのために自分も頑張りたいという様子でした。その中で、6年生は「学校の日」を1年生に教えるために、動画を作成しました。学校生活を劇のように仕立てていて、自分たちで1年生役にもなって実際の場面を一日の流れと同じように再現したものでした。掃除の時間の様子は、ほうきや雑巾のやり方まで丁寧に取り上げていて、「学校はたのしいよ。約束を守って安全にも気を付けて、いっしょに仲良くすごそうね」という思いが詰まっていました。自分が1年生の頃のことを懐かしく思い出しながら動画を作成した6年生もいたかもしれません。1年生とのかかわりによって、他の学年の子どもたちも自分の成長や役割を感じながら新年度をスタートすることができました。このように温かく迎えられた1年生。学校にも慣れて、元気いっぱいです。



1年生も、幼稚園や保育園では、「年長さん」として、それぞれの園のリーダーとして活躍していたことでしょう。今まで培ってきたその力を、これから学校でもどんどん発揮してほしいと思っています。

日々の生活の中でのかかわりに加え、毎日の登校班やなかよし班の活動など、学校では6年生を中心として上級生が下級生とかかわり、成長を助けるとともに自らも成長する場を大切にしています。下級生がいるからこそ上級生が育つという、ともに学び合う姿をめざして、それぞれの存在を仲間として認め、かかわり合うことのよさを大切にしながら日々の教育活動を進めてまいります。